

## ■植物

前回資料 1-7 で示した、国土交通省河川環境データベースの千曲川での確認種（平成 6 年、平成 11 年、平成 16 年調査）のうち、方法書 P121～123 のリストと重複していない、新たに認識した注目すべき植物は次の通りです。

## 「千曲川」の文献調査により新たに認識された注目すべき植物

科名	和名	「河川環境データベース」千曲川			法令	国RDB	県RDB	安曇野市RDB
		平成6年	平成11年	平成16年				
イラクサ	ホソバイラクサ	○	○	○			VU	
タデ	ノダイオウ			○		VU	N	
ナデシコ	フシグロセンノウ		○				NT	
キンポウゲ	ヒキノカサ	○				VU	VU	
ケシ	ツルキケマン		○			EN		
ユキノシタ	タコノアシ		○	○		VU	VU	
マメ	レンリソウ		○				NT	
ミカン	キハダ		○				VU	
スマレ	オオタチツボスマレ			○			NT	
ウリ	カラスウリ	○					DD	
アリノトウグサ	フサモ		○				NT	
ヒルガオ	マメダオシ		○				CR	
シソ	エゾシロネ		○				VU	
	ニガクサ		○	○			VU	
ナス	オオマルバノホロシ			○		VU		
ゴマノハグサ	アブノメ		○				CR	
キク	カラニンジン		○				CR	
	オオニガナ	○				VU	NT	
ヒルムシロ	リュウノヒゲモ			○		VU	CR	
イグサ	ハリコウガイゼキショウ		○				DD	
イネ	アゼガヤ			○			CR	
	ヒエガエリ			○			EN	
ミクリ	ヒメミクリ		○			VU	EN	
カヤツリグサ	クロカワズスゲ			○			EN	
	オオカワズスゲ			○			VU	
	アゼテンツキ		○				NT	
ラン	エビネ		○			VU	CR	

注 1) 文献調査の出典は以下のとおりである。

「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」（国土交通省ホームページ）  
平成 6 年度、平成 11 年度、平成 16 年度調査結果

注 2) 注目すべき種は、既存文献を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

- ①：「文化財保護法」（1950 年）に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種または、「文化財保護条例（1975 年）」に基づく県天然記念物に指定されている種
- ②：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（1992 年）」に基づく国内希少動植物種及び国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種
- ③：「レッドデータブック 2014」（平成 27 年 3 月 環境省）に記載されている種
- ④：「長野県版レッドリスト（植物編）2014」（平成 27 年 6 月 長野県）に記載されている種
- ⑤：「安曇野市版レッドデータブック 2014」（平成 26 年 7 月 安曇野市）に記載されている種
- ⑥：「長野県希少野生動植物保護条例（平成 15 年）」に基づく指定希少野生動植物及び特別指定希少野生動植物（脊椎動物）に指定されている種

注 3) ①～⑤の選定基準の記号は以下のとおりである。

- ①：特天：国指定特別天然記念物  
国天：国指定天然記念物  
県天：県指定天然記念物
- ②：国内：国内希少野生動植物種  
国際：国際希少野生動植物種
- ③、④、⑤：EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、  
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、  
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：特別：特別指定希少野生植物、指定：指定希少野生植物